

OpenAIとの連携による生成AIをフル活用したDXの加速

2025年6月17日

関西電力株式会社

当社は、OpenAI, Inc.（以下、OpenAI）と、生成AI活用を通じたデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）推進を目的とした戦略的な連携を開始しました。

本連携に基づき、当社はOpenAIが提供する安全性に優れた高度な生成AIサービス「ChatGPT Enterprise^{※1}」を、第一段階として社内のDX推進を担う人財を中心に大規模に導入し、新たな価値創出や抜本的な業務改革を目指します。また、OpenAIと連携して生成AI活用事例の創出・展開を行うため、OpenAI CoE（Center of Excellence）^{※2}を設置し、DX推進体制を強化します。

今後、OpenAIと検討を進める具体的な取組み例は、以下の通りです。

- ・ 火力発電事業における、デジタル発電所^{※3}の実現に向けた運転・保全業務への生成AI適用により、業務の品質と効率を向上。
- ・ 生成AIを活用した営業スタイルの変革や、お客さま対応業務などの高度化を実現し、顧客体験を向上。
- ・ 意思決定支援を行うAIエージェント^{※4}を構築し、経営判断の質・スピードを向上。

当社グループでは、2030年頃にAIによる破壊的なイノベーションである「AI産業革命」が到来すると想定し、2030年の「DXビジョン」とその実現に向けた「DXロードマップ」を策定しております。本取組みにより、DXビジョンの実現に向けた取組みを加速させていきます。

※1：OpenAIが企業向けに提供する生成AIの利用サービス。

※2：DXの専門会社であるK4 Digital株式会社内に設置する、AI専門家のチーム。OpenAIと連携し、新たな生成AI活用事例の創出に取り組む。

※3：データに基づきシームレスに運転・発電計画・保全業務が連携される発電所。

※4：設定された目標の達成に向けAIが自律的に判断・行動し、複雑なタスクを実行するシステム。

以上

別紙1：業務提携における両社のコメント

別紙2：説明資料

<業務提携における両社のコメント>

◆関西電力株式会社 代表執行役社長 森 望

生成A Iは、従業員の仕事方やお客さまの体験を大きく変える力を持つ革新的な技術です。当社は、A I技術の最前線を切り拓き世界をリードするO p e n A Iとの連携を通じ、業務効率の向上やエネルギーインフラの次世代化、デジタル技術を活用した新たな価値創出を目指してまいります。

この連携は、D Xビジョン実現に向けた重要な一歩であり、D Xの取組みを飛躍的にスピードアップさせることができると確信しています。

持続可能な社会の実現に向けて、これからも失敗を恐れず果敢に挑戦し続け、一歩先の未来を切り拓いていきます。

◆O p e n A I J A P A N合同会社 代表執行役社長 長崎 忠雄

公共インフラという社会に不可欠な分野において、いち早く生成A Iを活用し、日本のD Xを加速させるこの取り組みは、イノベーションと責任ある技術活用の両立を体現するものです。

関西電力が描く変革へのビジョンに共感するとともに、当社の安全性と信頼性を重視したA I技術を通じて、エネルギー分野における新たな価値創出を目指す今後の展開に大いに期待しています。

以 上

Open AIとの連携による生成AIをフル活用したDXの加速

2025年6月17日

関西電力株式会社

1. 当社のDXの取組み

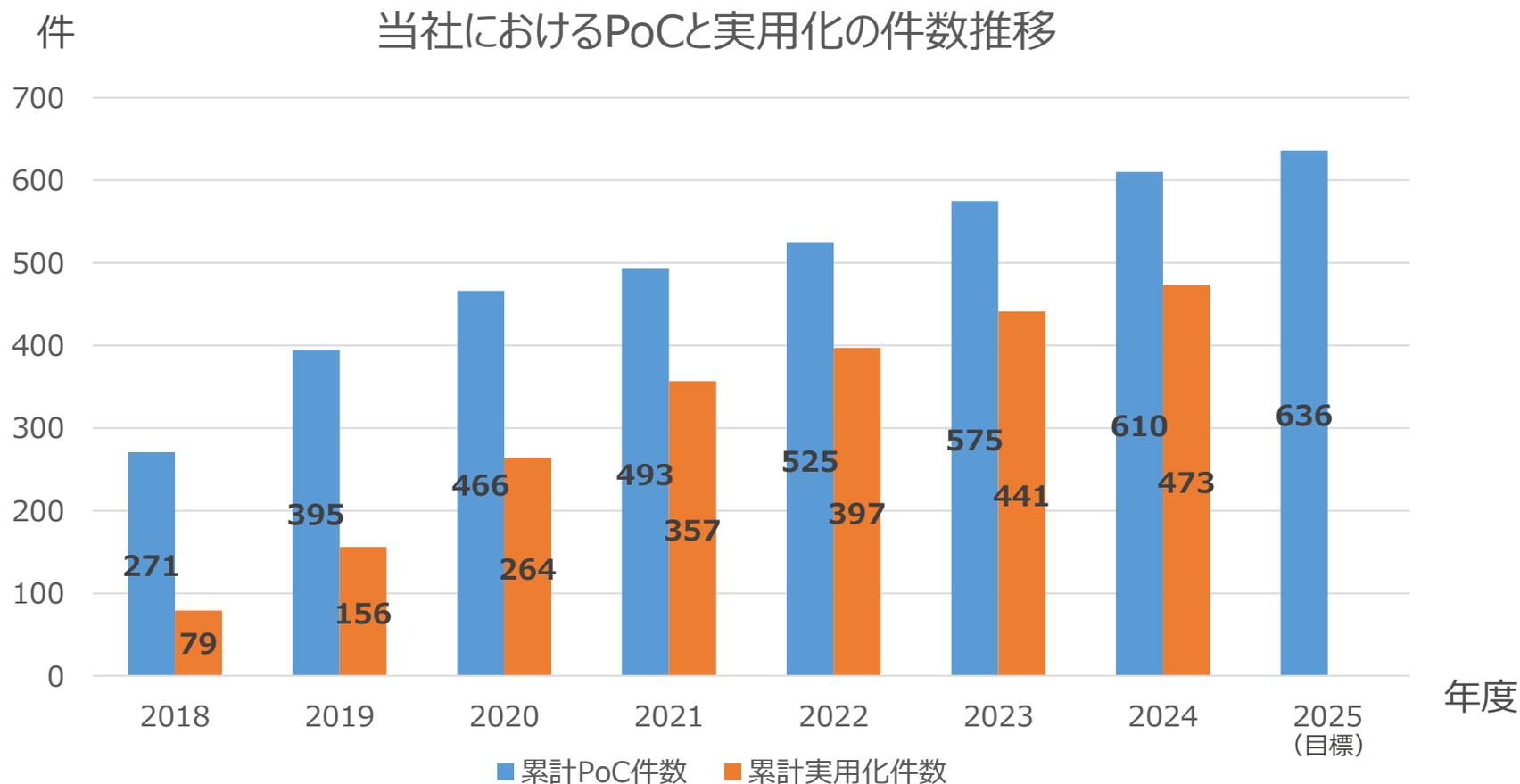
- 当社はデジタルで競争優位を築くことを目的に、2018年よりDX推進の取組みを開始している
- 2024年、AIによる破壊的なイノベーション「AI産業革命」の到来を想定し、DXビジョンを策定・公表した
- 本日、**当社DXの取組みをさらに加速させるため、OpenAIとの連携**を公表する

	年表											
年	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025				
社外動向			▼(9月)経済産業省がDXレポートを公表				▼(11月)OpenAI社がChat-GPTを公開					
当社動向	▼(6月)DX戦略委員会の立上げ				DXビジョン・DXロードマップ2030を公表 (7月)▼		OpenAIとの連携を公表 (6月)▼					
当社の主な受賞歴	▼ (8月) K4 Digital株式会社設立			IDC Future Enterprise Awards 2023『Best in Future of Workstyle』アワード (9月)▼ 								
	心理的安全性AWARD 2024『シルバーリング賞』(7月)▼ 											
	2024年度 IT 賞 (サステナビリティ領域) (12月)▼ 											
	2025年 JDMC データマネジメント賞 大賞 (3月)▼ 											

- 2018～2024年度の期間で、DX案件に関する**610件のPoC（概念実証）**を実施し、**473件を実用化**
- 2025年度には新たに26件のPoC実施を目標とし、**累計PoC件数636件を目指す**

※PoC件数・実用化件数は、関西電力に加え関西電力送配電を含む

※実用化件数には、新規事業のサービス化だけでなく、既存業務のシステム化・ロボット化も含む



累計PoC件数

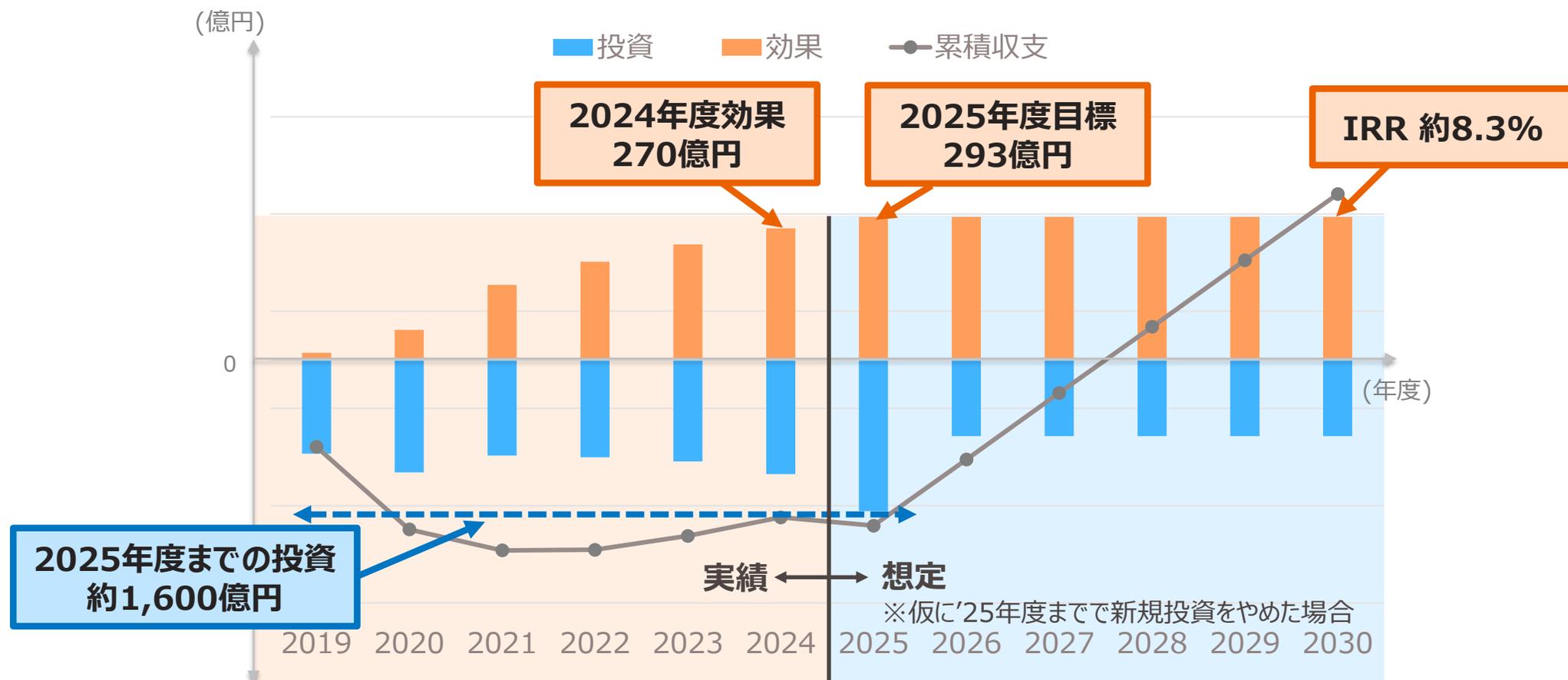
610件

累計実用化件数

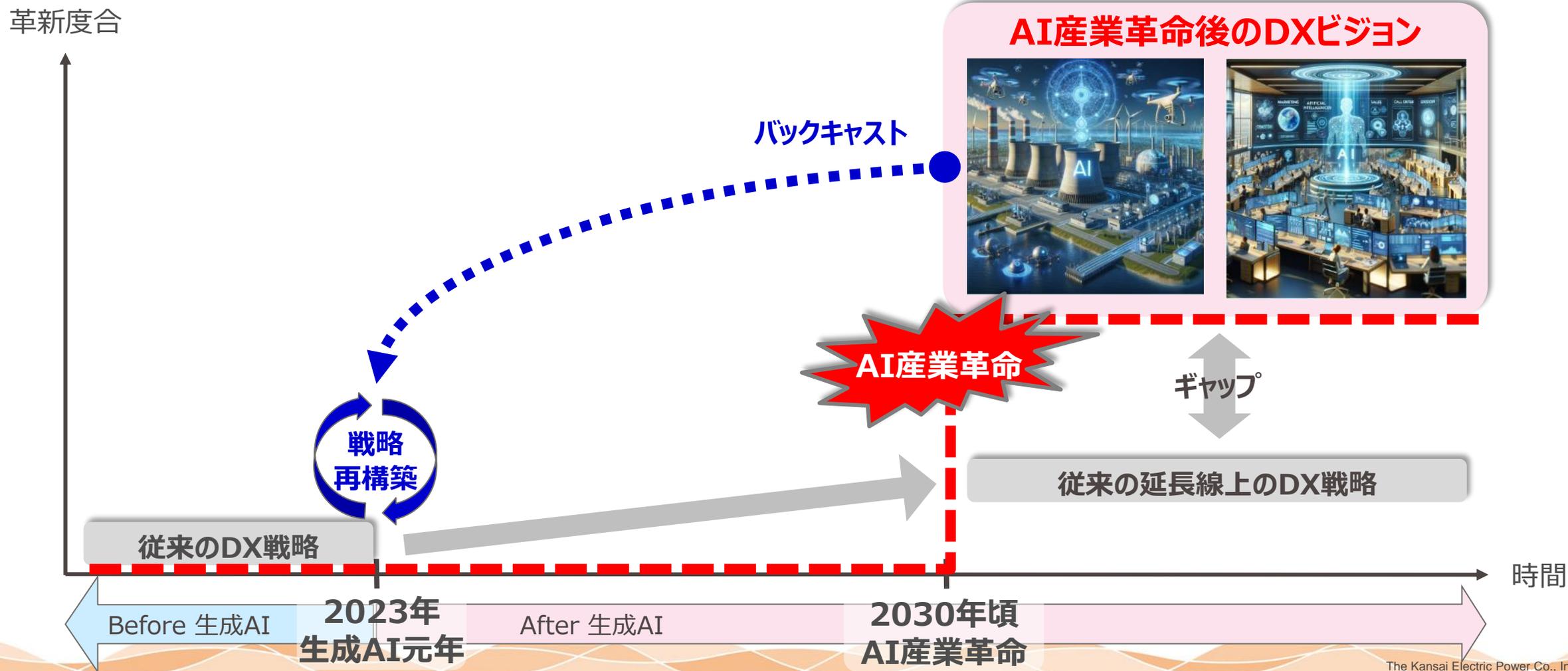
473件

- 2025年度末までに、**年平均225億円以上のDX投資**を実施
- 2024年度の**単年DX効果は270億円**と順調に成果を上げている
- 2025年度には**単年DX効果として293億円を目指し、IRR(内部収益率)は約8.3%**

※投資額・効果額・IRRは、関西電力に加え関西電力送配電を含む



- デジタル技術のうち特にAIは凄まじい速さで進化しており、今後、あらゆる産業・社会に急速に浸透することで、2030年頃には破壊的なイノベーションである「AI産業革命」が到来すると想定
- 当社における「AI産業革命後のDXビジョン」を明確化し、バックキャストで「DX戦略」の再構築を実施



- ・ 事業部門DXでは「各事業領域におけるデジタル変革」、オフィス業務DXでは「AIエージェントと創る新たな働き方」を目指し「価値創出」「生産性向上」を図ることで、中期経営計画に掲げたKX(Kanden Transformation)を実現
- ・ DXを加速する基盤として「人財・体制」「データ」「ポリシー・ルール」の整備と「組織風土改革」を実施していく

中期
経営
計画



お客さまと社会のお役に立ち続け、持続可能な社会の実現に貢献することを目指す



ゼロカーボンへの挑戦



サービス・プロバイダーへの転換



強靱な企業体質への改革

DX

事業
部門
DX

「各事業領域におけるデジタル変革」

燃料・需給



発電



送配電



小売・ソリューション



オフィス
業務
DX

「AIエージェントと創る新たな働き方」



価値
創出

生産性
向上

DX
基盤

人財・体制



データ



ポリシー・ルール



組織風土
改革



気づく



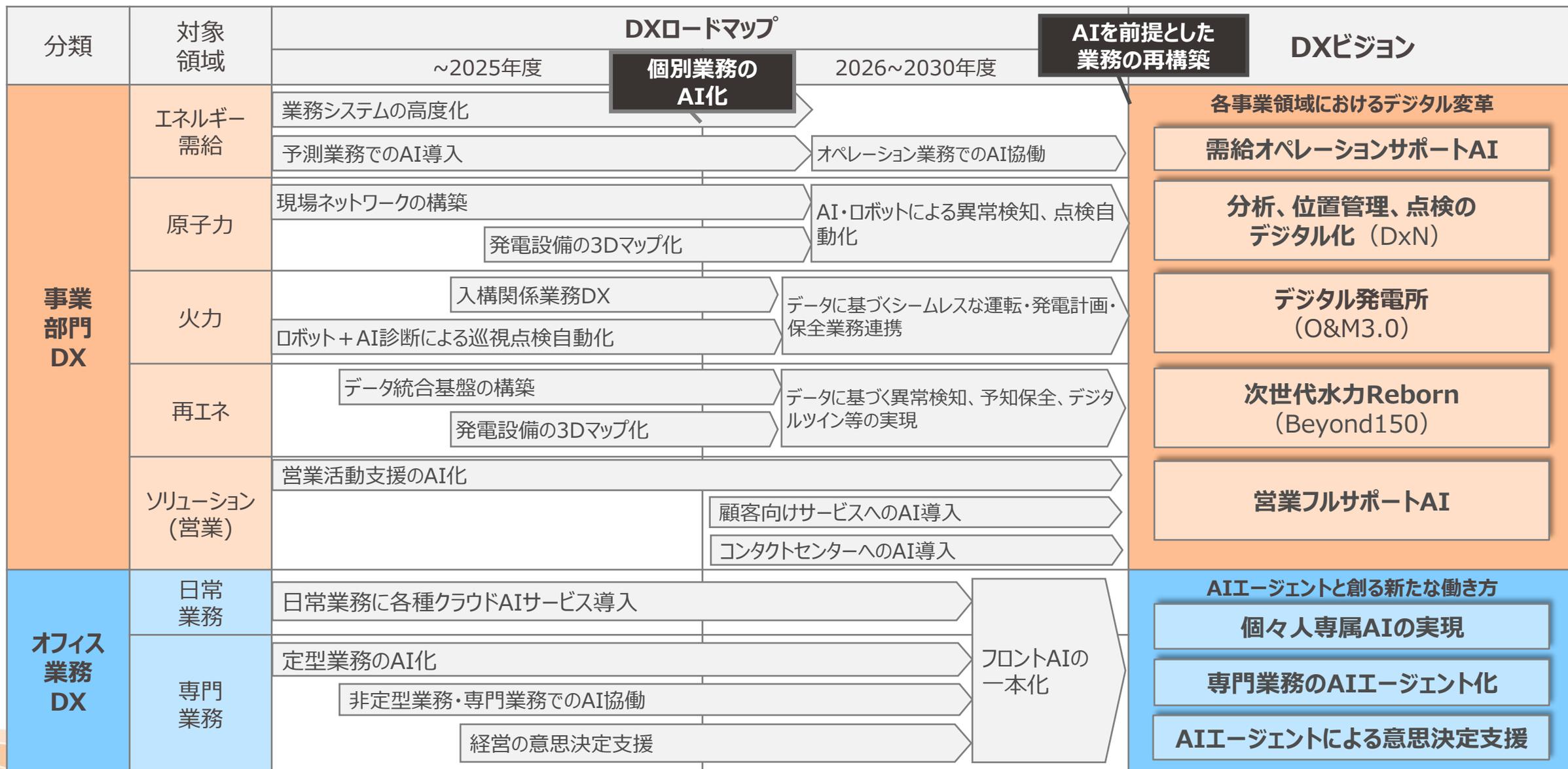
言える



行動する

安心して
挑戦できる
風土

・2030年頃に「AIを前提とした業務の再構築」を実現することを目指し、DXビジョンを具体化した



2. OpenAIとの連携

（1）方向性の合致

（2）最新の技術・ノウハウの共有

（3）スピード

（1）方向性の合致

- ・関西電力グループ経営理念とOpenAIのミッションが交わり、**エネルギー分野での生成AI活用による抜本的な業務改革や新たな価値創出等の取組みを加速できる**

関西電力グループ経営理念 Purpose & Values

経営理念 Purpose & Values

存在意義 Purpose
「あたりまえ」を守り、創る
Serving and Shaping the Vital Platform for a Sustainable Society

大切にする価値観 Values
公正 × 誠実 × 共感 × 挑戦
Fairness × Integrity × Inclusion × Innovation
私たちは、安全を守り抜くことを前提に、「公正」「誠実」「共感」「挑戦」を大切に行動します
With dedication to safety and security, we will act upon the values of Fairness, Integrity, Inclusion and Innovation

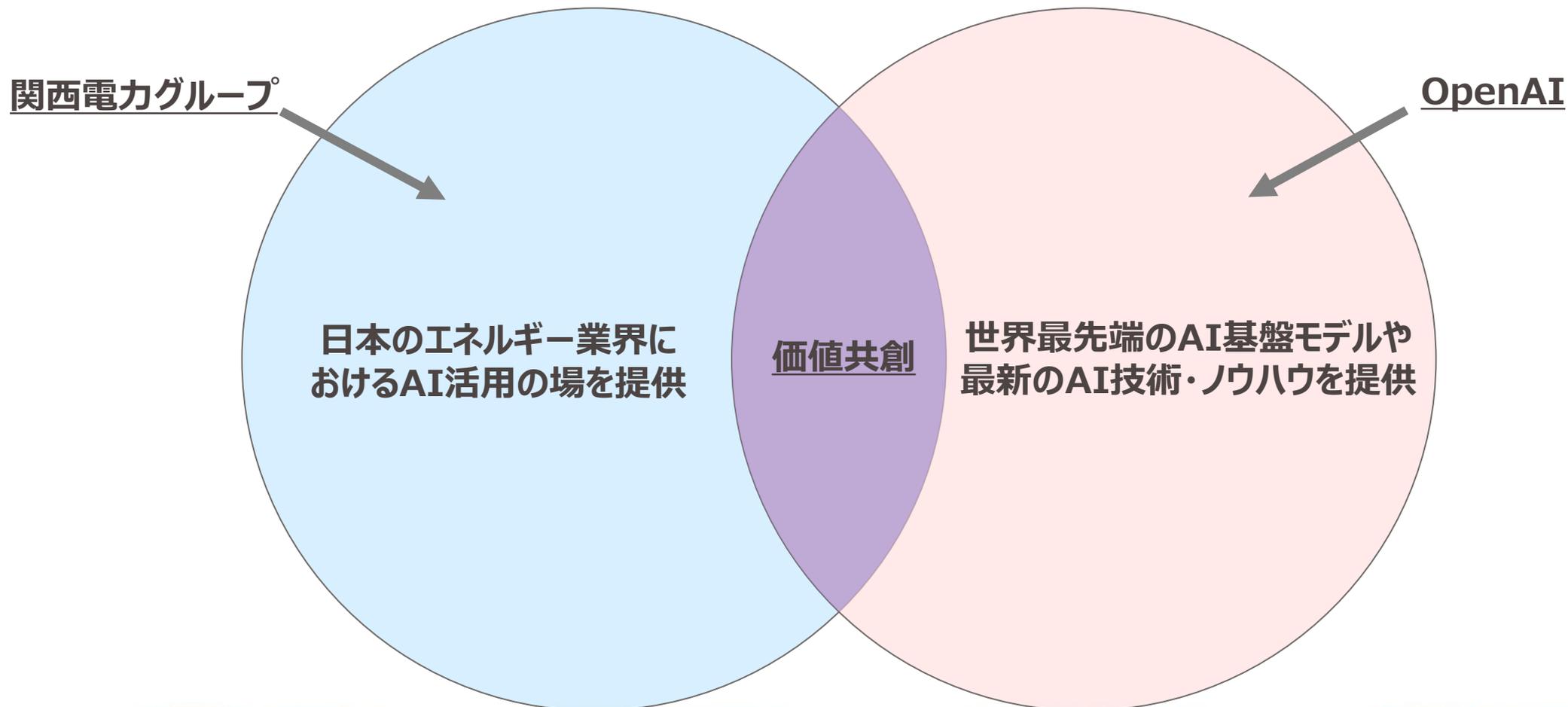
OpenAIのミッション

私たちの使命は、汎用人工知能が
全人類に利益をもたらすようにすることです。

価値共創

（2）最新の技術・ノウハウの共有

- ・関西電力：**世界最先端のAI基盤モデル**を活用し、**OpenAIから最新情報やノウハウを取得可能**
- ・OpenAI：日本のエネルギー業界におけるAI活用実績を拡大可能



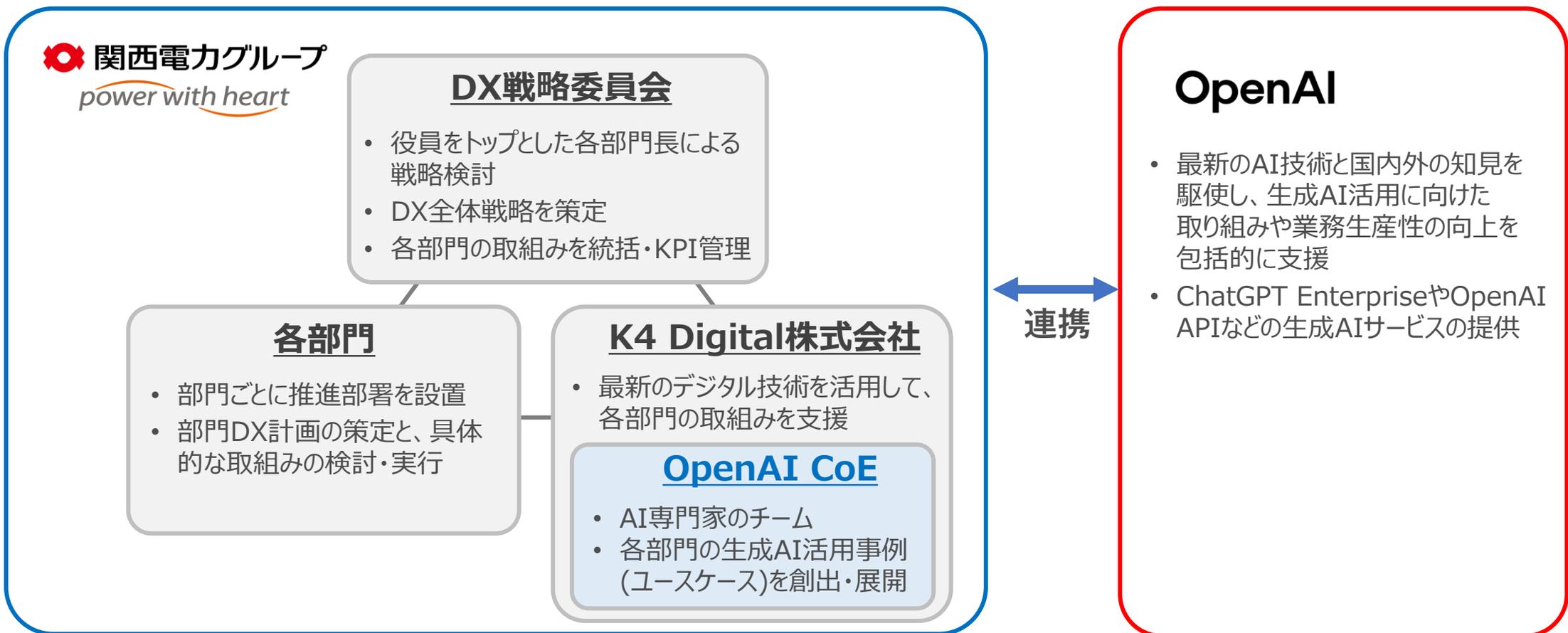
(3) スピード

- 革新的でグローバルなスピード感を持つ企業との連携が、当社の**DXや組織風土改革の加速**につながる

当社の目指す姿

		日本の伝統的企業 (JTC) Japanese Traditional Company	AI先進企業 (AIFC) AI First Company
AIの捉え方		AIを「どこに使うのか」を考える	AIを「前提」に業務を再構築し、競争優位の源泉とする
経営環境	変化	変化は脅威	変化は機会。迅速・柔軟に対応し、変化の先頭に立つ
	未来	「未来を予測」しようとする	「すでに起こった未来」を確認し、機会に利用する
	失敗	失敗を恐れ、何も行動しない	まず試行、早くたくさん失敗して、そこから学び・成長する
経営	志向	内部志向	顧客志向
	スタイル	計画重視の経営 (42.195kmのフルマラソン完走)	アジャイル経営 (100m × 422本連続ダッシュ)
	サイクル	Plan→Do→Check→Action	Sensing(感知)→Seizing(捕捉)→Transforming(変革)
	意思決定	KKD (勘・経験・度胸) に基づく	事実・データに基づく
	焦点	安定・維持・着実・改善	価値・成果・挑戦・成長・変革

- 当社グループでは、「DX戦略委員会／各部門／K4 Digital」が三位一体となり、DXを推進している
- 今回、K4Digitalに**OpenAI CoE (Center of Excellence)**を設置し、**OpenAIと連携してDX推進**に取り組む



1. 最新の生成AI基盤モデルを制限なく利用

- 最先端の生成AI基盤モデルに、応答回数の制限なく、優先処理の元、アクセス可能

2. AI情報探索による調査・企画業務の高度化

- Deep Research機能により、オンライン上の膨大な情報源から必要な知見を迅速に収集・分析可能

3. 社内情報・ノウハウと生成AIとの連携による業務改革

- テキストファイル、画像、音声、PDFなど多様なデータ形式を簡単にAIに読み込ませることが可能

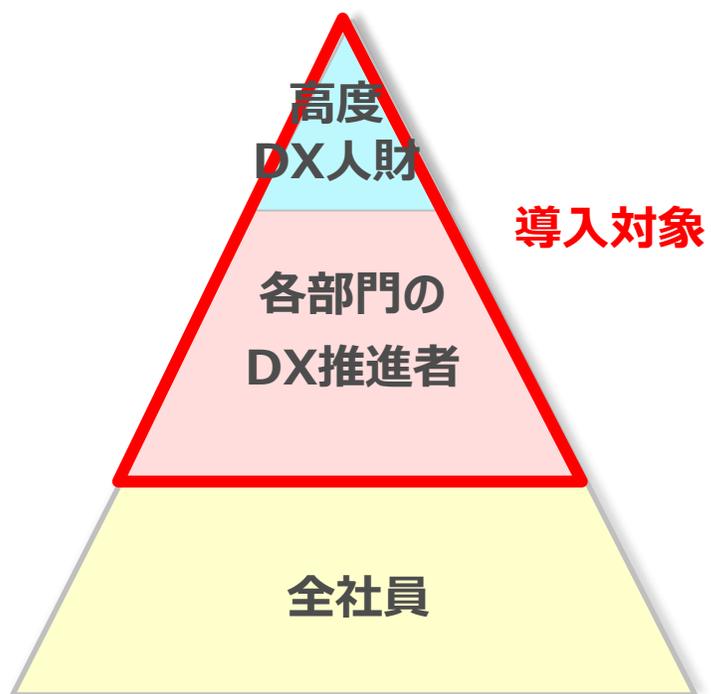
4. カスタムAIアシスタントの作成・共有

- 社員が特定の業務に特化したAIアシスタント（GPTs）を簡単に作成・配布可能

- OpenAIが提供する**高度な生成AIサービス「ChatGPT Enterprise」**を、**社内のDX推進を担う人財を中心に大規模に導入**し、新たな価値創出や抜本的な業務改革を目指す

対象者

社内のDX推進を担う**「高度DX人財」**、**「各部門のDX推進者」**を中心に導入



活用方法

• AI情報探索による調査・企画業務の高度化

Deep Research機能※により、オンライン上の膨大な情報源から必要な知見を迅速に収集・分析可能に

例：競合分析や市場調査にかかる時間を大幅に短縮する

• 社内情報・ノウハウと生成AIとの連携による業務改革

社内文書やマニュアル、現場写真を簡単にAIに読み込ませることが可能に

例：社内文書の要約、現場写真の分類・チェック

• AIアシスタントの作成・共有

社員による個別のAIアシスタント (GPTs) の作成・共有が可能に

例：契約書チェック専用のGPTsを作成し、業務を効率化
さらにGPTsを社内配布し、全社で業務効率化を実現

※ 大量の外部データを的確に探索・要約し、迅速なインサイト獲得を可能にする機能

3. 具体的な取組み例

- 火力事業本部では、これまで**ロボット、ドローンやAIを活用した火力発電所業務の効率化**に注力してきた
- 今後、**OpenAIと連携して検討を進め、運転・保全業務への生成AI適用**により業務品質・効率の向上を図る

★：生成AIに関する取組み

これまでの取組み

発電所構内巡視点検の自動化

巡視点検の大幅な業務効率化・生産性向上に向けた実証



労力・時間

自動化

巡視員による目視 → 巡視点検ロボット(センサ) + AI診断による実証

非GPS環境下自律飛行ドローン開発

煙突内部点検作業の安全性と効率性の向上を同時に達成



労災リスク

安全

効率化

作業員による目視 → 自立飛行型ドローンによる煙突内部点検

FY25～FY26の取組み

入構関係手続のDX

発電所に入構するための申請・教育・管理をDX化

申請	紙で作成・申請	ペーパーレス化し、Webから提出・処理	<p>新入構申請システム</p>
教育	来所後、対面にて実施	e-ラーニング化	
管理	手作業で登録 車両下車して認証	登録自動化 下車不要の入構認証	

部分最適のDX

全体最適のDX

※BVC2030・・・2030年代に向け 既存の概念を“壊し(Break)” 新たな“ビジョン(Vision)”を創造し 変革に“挑戦(Challenge)”するためのプロジェクトの標語。

発電所運営ビジョンプロジェクト BVC2030

- 脱炭素電源の新設を想定
- 2030年代の火力のO&Mビジョンを9つの業務像群として整理し推進

<足元の取組み>

生成AI活用[法令届出チェック/系統隔離/トラブル対応ノウハウ等]

検証・構築

運用

【継続】 巡視自動化システム

巡視点検ロボット(センサ) + AI診断による設備点検システムの運用・導入

他発電所・屋外設備への展開



D. AIによる工事プラン提案と法令チェックも含めた工事書類の自動生成

O&M3.0
データもココロも繋がる発電所

※O&M・・・Operation & Maintenanceの略。発電の現場では、安全に発電し続けるための運用管理や保守点検を指す。「O&M3.0」は2030年代における変革を概念化したビジョン。

- ソリューション本部では、これまで**営業部門の働き方改革**や、**エネルギーマネジメントシステムの開発**に注力してきた
- 今後、**OpenAIと連携して検討を進め、生成AIを活用した営業スタイルの変革**や、**お客さま対応業務などの高度化を実現し、顧客体験向上を図る**

---: 生成AIに関する取組み

これまでの取組み

FY25~FY26の取組み

2030年頃の到達点

営業部門の働き方改革



営業ダッシュボードによる営業活動の高速PDCAの実現



スマートフォンを活用した営業活動の効率化

エネルギーマネジメントシステムの開発

あらゆる分散型エネルギーリソースをリアルタイムに制御し、お客さまの省CO2・省コストを実現



DR指令等に対するリソースの最適制御

需要・発電予測に基づく、あらゆる分散型リソースの最適制御

複数拠点の最適制御
(同一法人)

あらゆるリソース・拠点を
同じ画面で管理



VPP事業

系統用蓄電池事業

再エネアグリ事業

モビリティ事業

はぴeセット他（家庭向け）

暮らし関連事業

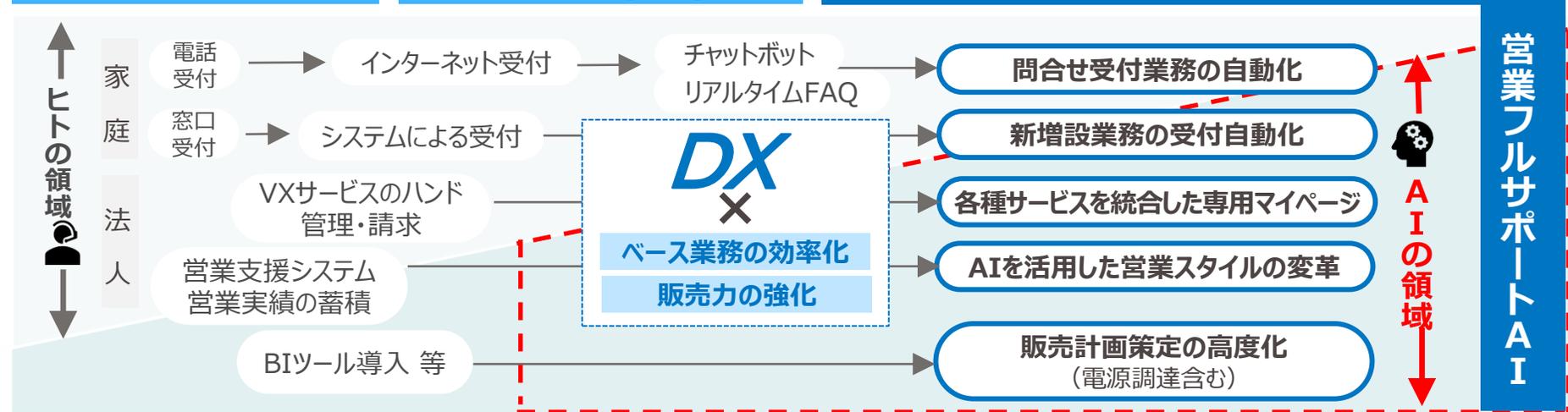
新たな事業
領域拡大

- ヒトとAIの最適な融合を実現し、お客さま満足さらなる向上を目指してデジタル化の飛躍的促進を図る

ヒトの処理を前提とした運営

ヒトとAIの融合（協働）促進

AI活用の飛躍的促進



- 各種VXサービスについてAI等のデジタル技術を最大限に活用し、高付加価値の提供・収益拡大を図る

- ・ オフィス業務領域では、これまで**業務ポータルサイトへの生成AI適用**や**全社DWSツールの導入等**に注力してきた
- ・ 今後、**OpenAIと連携して検討を進め、日常業務・専門業務への生成AI導入**に加え、意思決定支援を行う**AIエージェントを構築し、オフィス業務や経営判断の質・スピード向上**を図る

これまでの取組み

全社DWS(Digital Work Style) ツールの導入

クラウドストレージ

スキル可視化ツール

オフィスツール

動画共有ツール

Web会議ツール

業務ポータルサイトへの生成AI適用



AIが検索結果を要約して回答

管理間接業務のDX推進

エネルギー収支算定の高度化を実現する
システム開発・データ整備を実施



FY24~FY25の取組み

全社オフィス業務のDX

日常
業務

テキストベース生成AIの試行利用

DWSツールへの生成AI搭載

生成AI×
情報検索基盤

生成AI×
クラウドストレージ

生成AI×
Web会議ツール

生成AI×
オフィスツール

専門
業務

業務ポータル生成AI導入の水平展開

広報対応業務等へ生成AI導入

社内システムでの生成AI活用に向けたITインフラ基盤の構築

AIによるリスク分析

議事進行AIの導入

社内知見・意思決定内容の蓄積

2030年頃の到達点

「AIエージェントと創る新たな働き方」

個々人専属AIの実現

情報検索



コンテンツ生成

対話型支援

専門業務の AIエージェント化

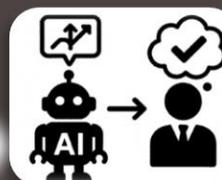
法務・経理



特定業務特化

AIエージェントによる 意思決定支援

経営判断の
スピード・質向上



OpenAIとの連携によるDXの加速を通じ 持続可能な社会の実現を目指します